

【テーマ】

子どもの不読率の改善 ～心を育む読書の大切さ～

～読書率向上の坂を上る↗

令和7年5月26日(月)
中央図書館長 山田綾子



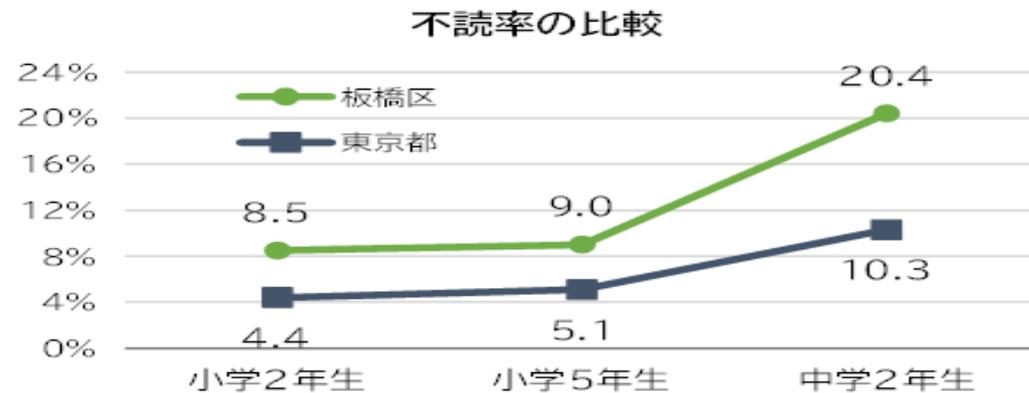
1. テーマ設定の背景

(1)現在、「子ども読書活動推進計画2030」の策定作業中です。

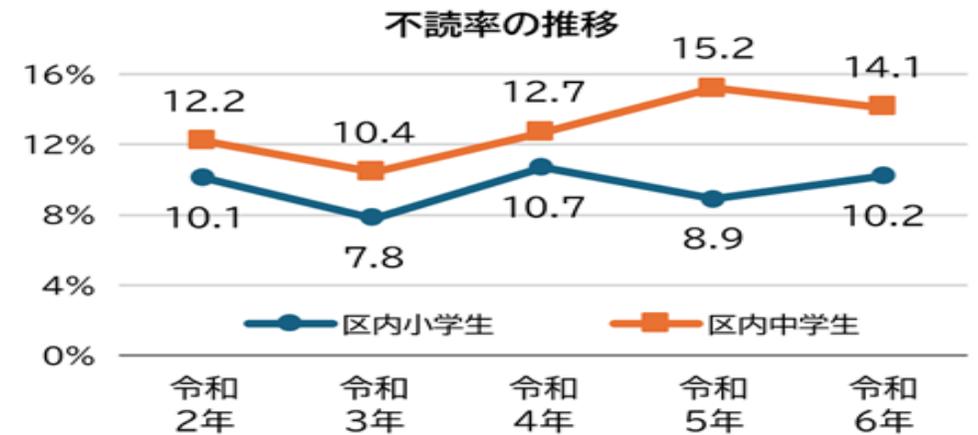
子どもの読書率の向上に向けた取組を検討しているところです。

(2)国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」においても筆頭の課題です。

(3)不読率の状況(R6年度、計画策定検討における調査)



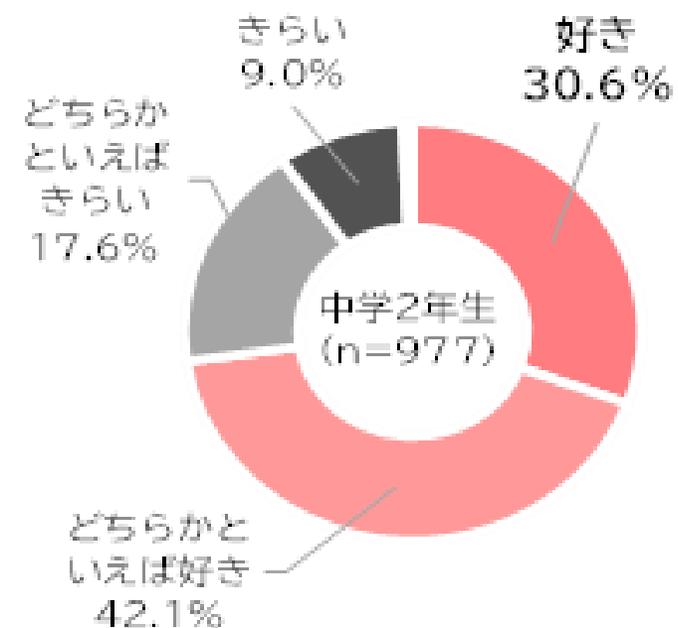
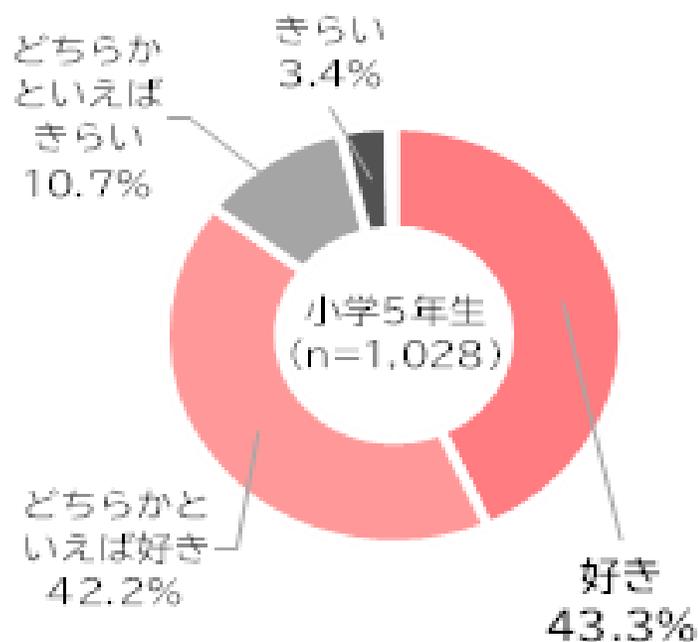
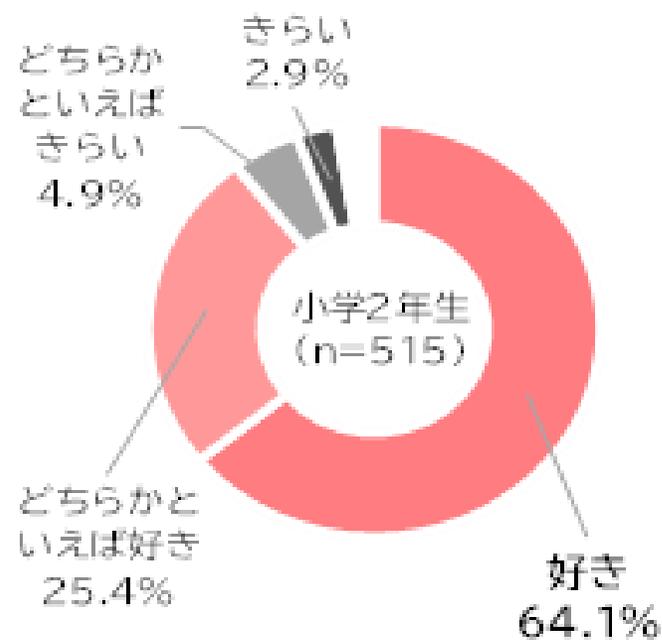
資料：板橋区「読書に関するアンケート」(令和6年度)
東京都「子供読書活動推進に関する調査の集計結果」(令和4年度)



資料：板橋区中央図書館「読書についてのアンケート調査」

1. テーマ設定の背景

◆読書の好ききらいについて



1. テーマ設定の背景

何故子ども読書活動を推進するのか

「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」

(子どもの読書活動の推進に関する法律 第2条)

1. テーマ設定の背景

何故子どもの読書活動を推進するのか

- ① 読書は、物語の登場人物の喜びや悲しみに共感することや自分自身の考えを確かめたり、深めたりすることができます。この体験を通し、他者の気持ちを理解する力を養い、情緒を育てる重要な役割を果たします。
- ② 読書を通じて、多くの知識を得たり、多様な文化への理解が深めたりすることができ、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探求心や心理を求める態度が培われます。

1. テーマ設定の背景

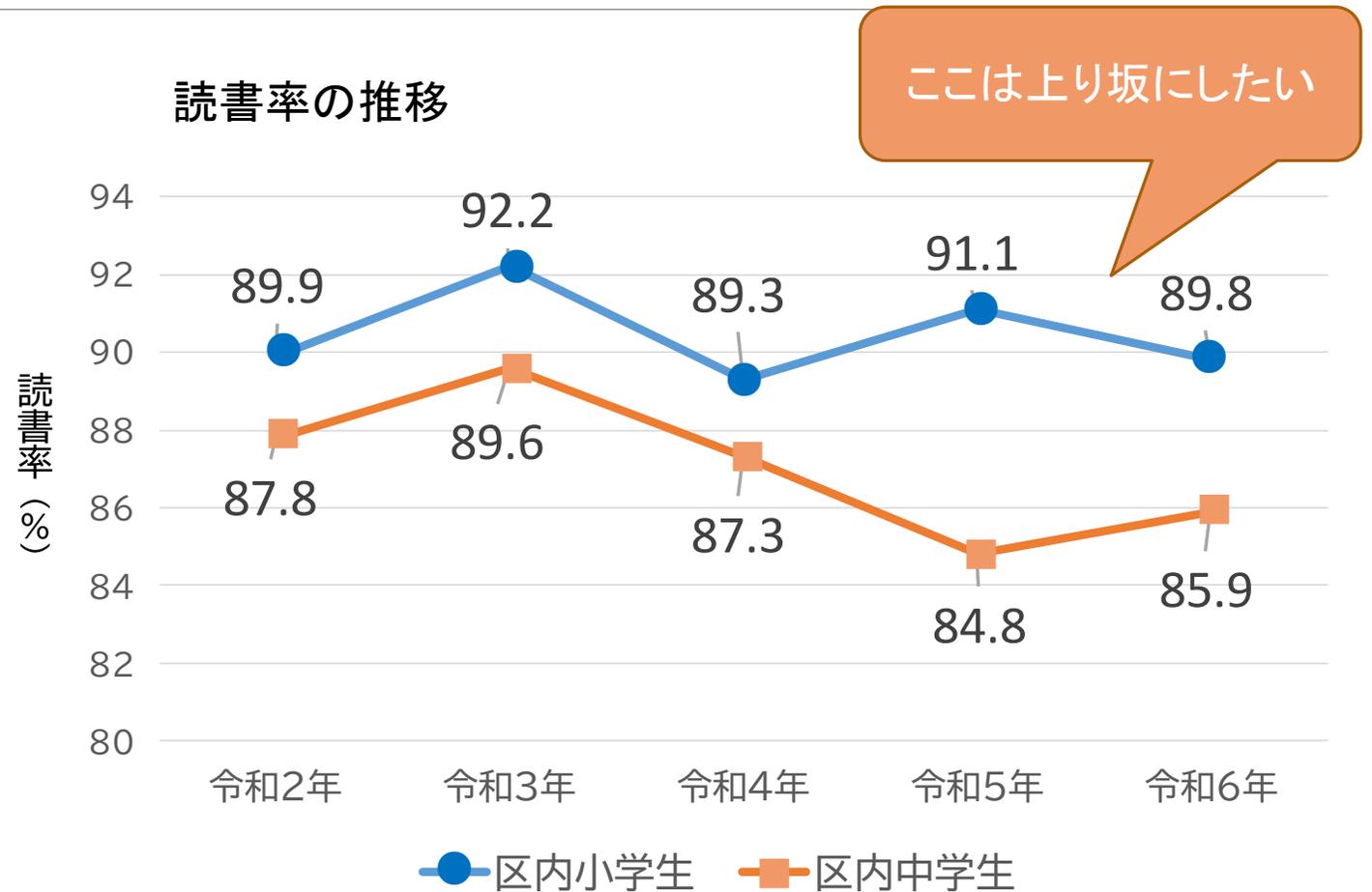
何故子どもの読書活動を推進するのか

まずは、子どもたちに、読むこと自体の楽しさ、充実感、満足感を得てほしい。

子どもの頃の楽しかった体験は、生涯にわたる学習意欲やウェルビーイングにつながるとともに、世代を越えた読書活動の循環が形成されます。

1. テーマ設定の背景

読書率の向上の坂を上っていきたい ↗



1. テーマ設定の背景

家庭、学校、地域と教育委員会事務局においても複数の所管が関わるテーマです。

教育委員会の中では、

学校における教育課程 → 各学校、指導室

学校図書館、学校司書 → 学務課

学校図書館の環境整備 → 新しい学校づくり課、学校配置調整担当課長

学校図書館の地域開放 → 地域教育力推進課

2. 今後の取組の方向性

(1) 子どもの自主性をはぐくむ ～挑戦してみたら、楽しかった！うれしかった！～



子ども司書の活動



いたばし国際絵本翻訳大賞授賞式

2. 今後の取組の方向性

(2)学校における取組～学校図書館は身近で学べる楽しいところ～

- 子どもたちが使いやすいよう、学校の中心へ配置



上板橋第二中学校

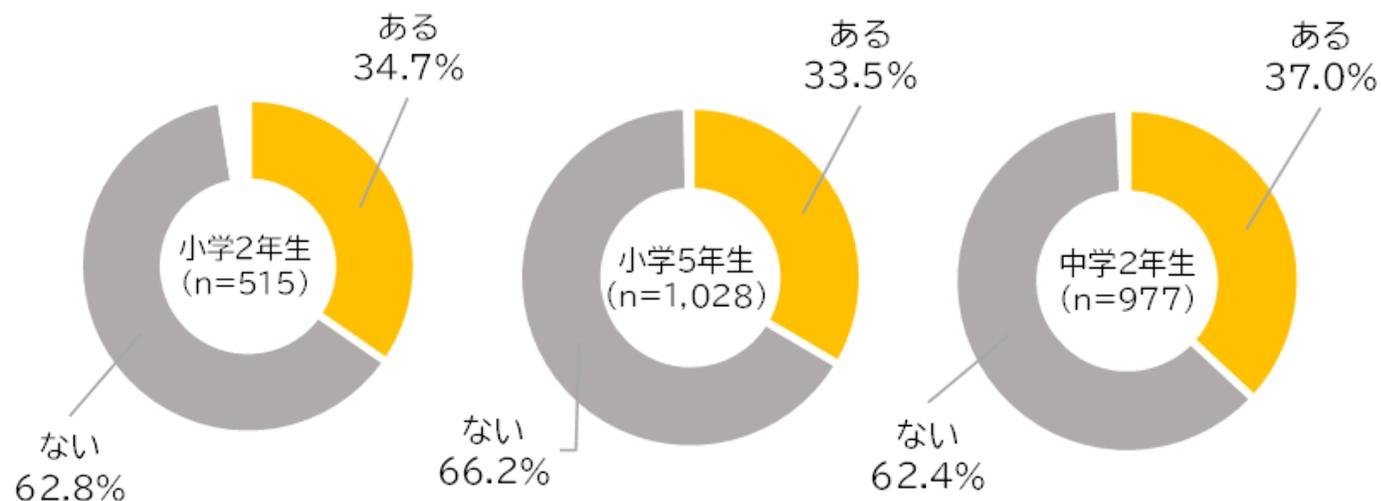
2. 今後の取組の方向性

(3) 図書館政策と学校連携に係る取組 ～楽しいコンテンツもあるんだね～

デジタルコンテンツの利用促進



電子図書館の利用状況



区立図書館による学校連携、地域連携事業

区立図書館がハブとなり、子ども、学校、地域の人材などをつなぐ役割を担う。

3. 後ほどのグループディスカッションで

読書を習慣づけるために家庭・学校・地域でできること



絵本のまち板橋

良い機会なのでご紹介



ご清聴ありがとうございました。

ぜひ中央図書館へ

[Instagram](#)で図書館の日常動画も配信してます。